

紬の里

●つむぎのさと

☎0296-32-8002 MAP→P22E1

機織り体験は、手軽にできるコースターのほか、じっくり織れるショール6000円～も。染め体験ではエプロンなども貸し出して。工房内のショップで結城紬の着物やオリジナルの小物も販売。

④結城市結城2515 ⑤JR結城駅から徒歩20分 ⑥機織り体験コースター(2枚1組)1500円、テーブルセンター3000円など(所要約30分～)、藍染め体験ハンカチ1000円、ハンダナ1500円など(所要約1時間)※体験は要予約 ⑦10～16時(土・日曜は～16時30分。体験受付は閉館の30分前) ⑧第1日曜、祝日 ⑨10台



▲城跡歴史公園(→P17)も近い、閑静な環境にある

つむぎの館

●つむぎのやかた

☎0296-33-5633 MAP→P22C2

結城紬の製造・卸問屋である奥順の敷地を利用した施設。製作工程や歴史の資料館「手緒里」や、ショップ「結の見世」があり、織りや染めの体験もできる。ギャラリー&カフェの蔵(→P11)も。



▲敷地内の店舗や土蔵などは国の登録有形文化財に指定されている

④結城市結城12-2 ⑤JR結城駅から徒歩10分 ⑥入館無料、資料館手緒里は200円、機織り体験コースター1000円(所要約30分～)、草木染め体験手拭い、ハンダナなど2000円、1名の場合は3000円(所要約1時間30分～) ⑦9時30分～17時(最終入館は16時30分) ⑧火曜(祝日の場合は開館) ⑨20台

本場結城紬 郷土館

●ほんばゆうぎつむぎ きょうどかん

☎0296-32-2121 MAP→P22C2

江戸時代の創業より結城紬を生産する小倉商店の資料館。結城紬で使用する、地機による機織り体験ができる。2時間の体験に参加すれば、作品を持ち帰ることも可能。反物や着物、雑貨の販売も。



▲歴史資料や、結城紬の道具の展示も必見

④結城市結城116 ⑤JR結城駅から徒歩10分 ⑥入館無料、機織り体験:2160円(所要約1時間) ⑦9時30分～17時(土曜、祝日は10時～) ⑧日曜 ⑨7台

結城市伝統工芸館

●ゆうぎしてんとうこうげいかん

☎0296-32-1108 MAP→P23C1

結城紬の道具やパネルが展示され、予約をすれば製作工程のビデオも観賞できる。地機織りの実演では、少しずつ織り上げる様子を間近で見てもよい。土・日曜は、地機織りや糸つむぎの体験も可能。



▲結城市の公共施設で、着こなし体験もここで実施している

④結城市結城3018-1 ⑤JR東結城駅から徒歩5分 ⑥入館無料、機織り・糸つむぎ体験無料(要予約、作品の持ち帰りはなし、土・日曜のみ) ⑦10～16時 ⑧水曜 ⑨30台

体験・見学はこちら

伝統の技を知る

工程の内容を知れば知るほど、1反の織物になるまでの膨大な時間と緻密な作業に驚く。着物を見れば、緋模様の意匠に目を近づけてみたくってしまいます。

▶本場結城紬 郷土館では地機織りの実演も、籽(ひ)を打ち込む音が心地よい



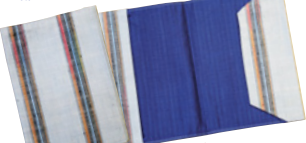
▶(右)伝統の柄の結城紬のほか新作も並ぶ、つむぎの館の陳列館 (左)昔ながらの手仕事を支える道具も展示されている本場結城紬 郷土館



使って知る

繊細な柄や上品な風合いが楽しめる、長く愛用するほど味わいが出るのが特徴。自分用にちよつと奮発してショールを選んだり、ギフトにするにもぴったり。

▲ざらりとした風合いで1年中使えるショール1万9440円、着物の袂をイメージしたバッグ6480円、亀甲柄のがまくち各1620円(つむぎの館)



▲ブックカバー2160円～は柄も豊富。ざらりとした手ざわりで長く愛用できそう(紬の里) ▶爪楊枝が入られる。小振りなエチケツミラ650円は人気アイテム(紬の里)



▲紬の里の工房内にはショップも体験後にはぜひ覗いてみたい

袖を通して本物を実感

結城紬着こなし体験

高級品でなかなか着る機会がない、憧れの結城紬の着物。結城市では、気軽に着こなし体験ができる。お似合いの着物を選んで、結城の街並みを散策してみても。着付けもお願いできるのでトライしよう。

ここで体験 結城市伝統工芸館→P5



着こなし体験! 着こなし体験!

▲結城紬の風合いのよさを体感してみたい

結城ブランド YUKI BRAND

結城紬とは

◆結城紬の歴史

「古事記」や「日本書紀」にも登場する第10代天皇・崇神天皇の時代に多屋(おのねのみこと)が始めた織物「純(あしぎぬ)」が原型と伝えられている。製法は代々受け継がれ、江戸時代には名品として全国に知られるようになった。



▲16項目の厳しい検査を合格した織物に貼られる本場結城紬検査証

◆全工程が手作業

結城紬には40以上の製作工程があり、熟練した手仕事によって長い時間をかけて作られる。地機織りの工程だけでも、1反織りあげるのに1年以上かかるものもあるほど。



▲糸つむぎから染色、地機織りなどの技術は、昔からの技法が守られている

◆特徴と着こなし

結城紬は風合いがよくて温かく、軽い着こなし。その秘密は、真綿から撚りをかけずにつむぐ、結城紬独特の糸と地機織りの技術にある。3代通して代々着続けることができるというほど丈夫だ。

日本最古の織物の伝統にふれる

結城紬の魅力を訪ねて

結城市は日本を代表する最高級の絹織物、結城紬のふるさと。2010年には、ユネスコ無形文化遺産にも登録された。機織りや染めの体験や結城紬にふれ、世界にも認められた伝統の技を感じよう。

体験して知る

機織りや染めの体験を通して、ひとつひとつ丁寧な作業が必要になることを実感。完成品を手にはすれば喜びもひとしお。

集中して織らなくちゃ...



3 機織りに挑戦 足で踏み込むと縦糸が交互に上下に分かれる。その間に「籽(ひ)」にセットした横糸を通して、打ち込む作業を繰り返す。トントンリズムよく織っていく。

何色にしようかな?...



2 横糸を選ぶ 縦糸に通していく横糸を選ぶ。どんな柄になるか色のバランスを考えながら選ぶのが楽しい。



4 完成! コースターは2枚1組。10cm織ってから横糸を選び直せば色違いにもできる。旅の思い出にもなっとうれしい!

少しずつ織り上がる楽しさ

機織り体験

初心者でも織ることができる織機を使ってコースターを作る。単純な作業に見えても力の加減で仕上がりに大きな違いが。

ここで体験 紬の里→P5



1 機織り機を選ぶ 工房には機織り機がズラリ。あらかじめ縦糸がセットしてあるので、好みの色や柄を選ぶ。



4 完成! コースターは2枚1組。10cm織ってから横糸を選び直せば色違いにもできる。旅の思い出にもなっとうれしい!

Column

ユネスコ無形文化遺産に登録された技術

2000年もの歴史をもつ結城紬の製作技術。昭和31年(1956)には「糸つむぎ」、「緋くくり」、「地機織り」の技術が国重要無形文化財に認定され、さらに2010年にはユネスコ無形文化遺産に登録された。糸は真綿から手つむぎし、緋模様の手くくり、地機による機織りなどの指定要件を満たす必要がある。



▲撚りをかけずに真綿から糸を引き出す「糸つむぎ」

欲しいときはこちらでゲット!

結城観光物産センター

●ゆうぎかんこうぶつさんせんたー

☎0296-48-8155 MAP→P22B3

駅前の結城市民情報センターに隣接し、伝統工芸品や結城の特産品が揃う。観光パンフレットなども充実。結城紬の機織り実演も見学できる。

④結城市国府町1-1-1 ⑤JR結城駅からすぐ ⑥9～17時(物販は3～10月は10時30分～17時、11～2月は10～16時) ⑦月曜(祝日の場合は翌日) ⑧113台(結城市民情報センター駐車場利用)

まゆ工芸の体験

まゆ玉を薄く開きながら作るコースージュなど、まゆ工芸を体験できる。料金は500円で所要は2時間ほど。事前に電話で予約しよう。



▲3～4名なら市村マツさんの工房で体験できる

市村まゆ工芸

●いちむらまゆこうげい

☎0296-32-9957 MAP→P22B3

④結城市結城13596 ⑤JR結城駅から徒歩3分 ⑥10～16時 ⑦不定休 ⑧3台



まゆ玉を乾燥させて洗いをかけ染めてからひとつひとつ縫い合わせしていく。ペンケースや帽子などお客様の要望から試行錯誤を重ね、アイテムが豊富になたそう。

▲まゆ工芸の帽子は丸洗前いで、型崩れしにくい。糸の入れ替えも簡単で、お土産にも人気

まゆ工芸品

柳田履物工場

●やなぎたはきものこうじょう

☎0296-32-2200 MAP→P22C1

④結城市結城1740

▶軽くて丈夫な桐下駄には現代もファンが多い



江戸時代中期以降から盛んになった結城の桐下駄作り。桐のやわらかな肌ざわりと履きこむときのよさが魅力。底にゴムを貼り現代風にアレンジした下駄も。

桐下駄



結城桐製品組合

●ゆうぎせいせいひんくみあい

☎0296-32-2200 MAP→P22C1

④結城市結城1740

▶桐箆筒は茨城県の郷土工芸品にも指定されている。▶桐特有の美しい木目を活かした桐工芸品



室町時代は櫛が使われていたがやがて燃えにくく、通気性がよい桐が使われるようになったといわれる。衣類の収納に優れ、長く愛用できる逸品。

桐箆筒 桐工芸品

もっと知りたい 結城の伝統工芸

